平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場会社名　荒川化学工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4968　URL　http://www.arakawachem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 末村　長弘
問合せ先責任者　(役職名) 取締役業務統轄部長　(氏名) 延廣　徹　TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,612	△8.5	358	△56.9	347	△60.3	103	△77.2
24年3月期第1四半期	18,146	11.9	831	△24.8	876	△25.9	454	△29.9

(注) 包括利益　25年3月期第1四半期　906百万円　(6.3%)　24年3月期第1四半期　852百万円　(71.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.14	―
24年3月期第1四半期	22.55	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	76,350	38,585	49.0
24年3月期	77,108	37,910	47.8

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　37,408百万円　24年3月期　36,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	11.50	―	11.50	23.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		11.50	―	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,500	△2.1	750	△38.4	750	△39.6	400	△37.8	19.86
通期	73,000	3.1	2,100	18.0	2,100	13.0	1,200	△12.3	59.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	20,150,400 株	24年3月期	20,150,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	11,766 株	24年3月期	11,766 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	20,138,634 株	24年3月期1Q	20,138,666 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の国内経済は、震災からの復興需要もあり、持ち直しの動きもみられましたが、欧州を中心とする海外景気の減速や円高などにより、厳しい状況が続きました。

また、世界経済は、米国経済の緩やかな回復などはありましたが、欧州の金融危機の影響などによる中国経済の減速もみられ、景気の回復は弱いものとなりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、徹底した経費削減を実施するとともに、主原料であるロジンをはじめとする原材料価格の変動に対応した製品価格の改定に努めてまいりました。また、超淡色ロジン、光硬化型樹脂および電子材料用配合製品などの高付加価値製品を中心に拡販を推進してまいりました。海外におきましては、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大を推進してまいりました。

しかしながら、基盤事業における主要製品の国内での需要減少に加え、設備投資にともなう減価償却費の増加もあり、収益性が悪化しました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は166億12百万円（前年同期比8.5％減）、営業利益は３億58百万円（同56.9％減）、経常利益は３億47百万円（同60.3％減）、四半期純利益は１億３百万円（同77.2％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

＜製紙薬品事業＞

国内製紙業界は、需要の低迷や輸入紙の増加などにより印刷用紙の生産は減少しましたが、段ボール原紙など板紙の生産は堅調に推移しました。一方、中国製紙業界においては、紙・板紙の需要の伸びが鈍化しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の販売は低調に推移しましたが、台湾での販売は増加しました。利益面では、台湾、中国における拡販や新たな製品の投入により、全体では微減益にとどまりました。

その結果、売上高は43億７百万円(前年同期比13.6％減)、セグメント利益は２億11百万円(同4.3％減)となりました。

＜化成品事業＞

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで、低調に推移しました。このような環境のもと、国内事業におきましては、印刷インキ用樹脂や粘着・接着剤用樹脂の販売が減少しました。また、海外事業におきましては、欧州での販売が減少しました。利益面では、国内外の販売減少に加え、超淡色ロジンの設備投資にともなう減価償却費の増加により、損失となりました。

その結果、売上高は87億76百万円(前年同期比8.6％減)、セグメント損失は80百万円(前年同期はセグメント利益５億30百万円)となりました。

＜電子材料事業＞

電子工業業界は、スマートフォンの拡大があったものの、薄型テレビやノートパソコンなどの需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、昨年夏場以降の需要低迷から、光硬化型樹脂、電子材料用配合製品および機能性ファインケミカル製品の販売が回復傾向となりました。利益面では、前四半期までの損失から黒字転換しましたが、光硬化型樹脂の一部用途での販売回復が遅れ、減益となりました。

その結果、売上高は34億64百万円(前年同期比0.4%減）、セグメント利益は60百万円(同50.9%減)となりました。

（2）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間ならびに通期の連結業績予想につきましては、平成24年５月７日に公表しました業績予想に修正はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,678	5,794
受取手形及び売掛金	27,482	27,016
商品及び製品	6,890	7,010
仕掛品	693	718
原材料及び貯蔵品	5,742	5,873
繰延税金資産	508	399
その他	1,439	1,332
貸倒引当金	△115	△106
流動資産合計	48,321	48,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,700	8,551
機械装置及び運搬具（純額）	9,151	8,963
土地	4,700	4,706
建設仮勘定	50	39
その他（純額）	408	428
有形固定資産合計	23,010	22,689
無形固定資産		
のれん	160	193
その他	634	664
無形固定資産合計	795	858
投資その他の資産		
投資有価証券	4,074	3,680
繰延税金資産	563	746
その他	350	344
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,981	4,764
固定資産合計	28,786	28,312
資産合計	77,108	76,350

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,782	11,707
短期借入金	12,131	11,527
未払法人税等	197	111
未払消費税等	36	148
賞与引当金	810	511
役員賞与引当金	37	9
資産除去債務	15	15
設備関係支払手形	90	152
その他	3,720	3,245
流動負債合計	28,822	27,429
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	3,080	2,939
繰延税金負債	64	66
退職給付引当金	1,920	1,880
修繕引当金	51	68
資産除去債務	84	85
その他	173	296
固定負債合計	10,375	10,335
負債合計	39,197	37,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	31,065	30,937
自己株式	△11	△11
株主資本合計	37,532	37,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	418
為替換算調整勘定	△1,281	△414
その他の包括利益累計額合計	△703	4
少数株主持分	1,081	1,176
純資産合計	37,910	38,585
負債純資産合計	77,108	76,350

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	18,146	16,612
売上原価	14,532	13,547
売上総利益	3,613	3,064
販売費及び一般管理費	2,782	2,706
営業利益	831	358
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	50	42
不動産賃貸料	29	29
為替差益	0	－
その他	60	34
営業外収益合計	141	108
営業外費用		
支払利息	78	77
為替差損	－	28
その他	18	12
営業外費用合計	96	118
経常利益	876	347
特別利益		
固定資産売却益	71	0
負ののれん発生益	12	－
特別利益合計	84	0
特別損失		
固定資産除売却損	17	2
災害による損失	93	－
投資有価証券売却損	0	－
投資有価証券評価損	－	148
特別損失合計	111	151
税金等調整前四半期純利益	848	196
法人税、住民税及び事業税	115	64
法人税等調整額	236	15
法人税等合計	352	79
少数株主損益調整前四半期純利益	495	116
少数株主利益	41	13
四半期純利益	454	103

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	495	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△159
為替換算調整勘定	405	948
その他の包括利益合計	356	789
四半期包括利益	852	906
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	788	810
少数株主に係る四半期包括利益	64	95

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,987	9,600	3,478	18,066	79	18,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	139	139	9	149
計	4,987	9,600	3,618	18,206	89	18,295
セグメント利益又は損失(△)	220	530	123	874	△0	874

(注)　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	874
「その他」の区分の損失(△)	△0
全社費用の配賦差額(注)１	△16
営業外損益(注)２	△26
四半期連結損益計算書の営業利益	831

(注)１　全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

２　営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当社は、当社の連結子会社である荒川ケミカル（タイランド）社の株式を追加取得いたしました。これに伴い「化成品事業」セグメントにおいて負ののれん発生益を計上しております。

なお、当第１四半期連結累計期間における当該事象による負ののれん発生益の計上額は、12百万円であります。

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,307	8,776	3,464	16,547	64	16,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	86	86	7	93
計	4,307	8,776	3,550	16,633	72	16,706
セグメント利益又は損失(△)	211	△80	60	191	△2	189

(注)　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	191
「その他」の区分の損失(△)	△2
全社費用の配賦差額(注)１	223
営業外損益(注)２	△55
四半期連結損益計算書の営業利益	358

(注)１　全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
　　２　営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。